



特 別  
^13  
4309  
4



No. 84  
39

第一六八九號  
三行三九番  
五冊四

113  
4309  
4

優源平欽衣裳

第一

ハクキリ

昭和27年3月15日  
岡村十史氏贈

<2002-164>

優源平欽衣裳

四之巻

目録

第一 情をこく愁をうゑし之を身以て憂う早瀬

舟てんる舟袋漬物起清の石送り

意をこく二人が仲経合巻り舟入る疾

信札の欽熱心泥は海を渡る罪と沈門水



才二 家の守り 盗盗より 頼政の石原を 御

まへに 人れお 莫太 頼政の口と 頼政の 頼政

道々やの 追従 頼政の 頼政の 頼政

茶湯 附合の 潜と 双六 振て 出は 道々 合

才三 名奴の 意の 守力 振と 頼政の 頼政

頼政の 意の 守力 振と 頼政の 頼政

頼政の 意の 守力 振と 頼政の 頼政

頼政の 意の 守力 振と 頼政の 頼政

① 情の 意の 守力 振と 頼政の 頼政

佛の 方便 武士 智深 計略 頼政の 頼政

一 目見るより 頼政の 意の 守力 振と 頼政の 頼政

の 頼政の 意の 守力 振と 頼政の 頼政

の 頼政の 意の 守力 振と 頼政の 頼政

の 頼政の 意の 守力 振と 頼政の 頼政

の 頼政の 意の 守力 振と 頼政の 頼政

の 頼政の 意の 守力 振と 頼政の 頼政









一魚とてなむをばさるるうらうらとていふは  
 りねはなほあはれとてあはれとていふは  
 口福のよきとていふはあはれとていふは  
 幸のよきとていふはあはれとていふは  
 ゆいそとていふはあはれとていふは  
 のとていふはあはれとていふは  
 親のよきとていふはあはれとていふは  
 姉のよきとていふはあはれとていふは  
 らのよきとていふはあはれとていふは  
 をばさるるうらうらとていふは  
 横江中づりのよきとていふは

ありのふくまへ妻女あまれの腕は仲保命と入る意を  
 遊そくとあれがけけりりゆとあはれとていふは  
 向ふうらう遊そくとあれがけけりりゆとあはれとていふは  
 空とていふはあはれとていふは  
 のよきとていふはあはれとていふは  
 をばさるるうらうらとていふは  
 と遊との後と橋の西とていふは  
 大まきとていふはあはれとていふは  
 同編とていふはあはれとていふは  
 幸のよきとていふはあはれとていふは  
 ままのよきとていふはあはれとていふは  
 と遊との後と橋の西とていふは





忠告のてし着て討せんとおさかりとたをわきまをてかへし  
死にきり方殿切くおれが御がりいふてとれたるが  
源で越つとふまも信教ととあはねるのきりか智縁  
りて懸げの大きいのぞこのまはるくを討めんと平家の  
軍務責をすいづりていひしはる。雜兵のいけんよりは  
と信するといふなるわななく首のきりたる。たと穿らるる  
そよぐのく切替せんと産するといふ標判者竟の  
或はつとるるなり。若もすあしすあしとふ切  
やれん。罪作りといふまじも。平家のあ一人あ人も討め  
る者このむぞと大かわらなく切せんといひはる。は  
兵衛公方あげりりり。今もよさふもあはるる。國にて  
後十文字あめしちやく死てんがりあつていひしはる。て  
そこ今もいひはるなり。

### 二 承久の御算入ありし戦役の御記

おし源と位親公の御算入ありし御記の御記  
りひ。主とてなすく御算あり。之を御算入に任せ。大御法を  
せられし御算入あり。まはるる。御算入の御算入あり。  
東之東の林あり。とて御算入あり。御算入の御算入あり。  
かひに御算入あり。御算入あり。御算入の御算入あり。  
御算入の御算入あり。御算入あり。御算入の御算入あり。  
まはるる。御算入あり。御算入の御算入あり。御算入の御算入あり。  
御算入の御算入あり。御算入あり。御算入の御算入あり。御算入の御算入あり。  
御算入の御算入あり。御算入あり。御算入の御算入あり。御算入の御算入あり。  
御算入の御算入あり。御算入あり。御算入の御算入あり。御算入の御算入あり。

隙にありて候乃種をえりて追ある。まよりあなるをえり。あ付  
すて候を射て西極をゆせりしといふ。盛物の名細く。宮司  
細く色れい。づの原よりゆせりし。ゆせりし。あねの字  
ひる世をい流布わつて。あねの流布と。づく。ゆせりし。あね  
あねざりし。流布もひる世ゆせりし。あねの流布と。づく。ゆ  
国内、あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。あねの流  
あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。  
あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。  
あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。  
あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。

あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。  
あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。  
あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。  
あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。  
あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。  
あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。  
あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。  
あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。  
あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。  
あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。

あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。あねの流布と。









此の如くは、<sup>（一）</sup> 天の御心、<sup>（二）</sup> 地の御心、<sup>（三）</sup> 人の御心、<sup>（四）</sup> 物の御心、<sup>（五）</sup> 神の御心、<sup>（六）</sup> 鬼の御心、<sup>（七）</sup> 妖の御心、<sup>（八）</sup> 魔の御心、<sup>（九）</sup> 邪の御心、<sup>（十）</sup> 逆の御心、<sup>（十一）</sup> 非の御心、<sup>（十二）</sup> 妄の御心、<sup>（十三）</sup> 幻の御心、<sup>（十四）</sup> 夢の御心、<sup>（十五）</sup> 泡の御心、<sup>（十六）</sup> 影の御心、<sup>（十七）</sup> 響の御心、<sup>（十八）</sup> 相の御心、<sup>（十九）</sup> 輪の御心、<sup>（二十）</sup> 廻の御心、<sup>（二十一）</sup> 空の御心、<sup>（二十二）</sup> 無の御心、<sup>（二十三）</sup> 有の御心、<sup>（二十四）</sup> 無常の御心、<sup>（二十五）</sup> 常の御心、<sup>（二十六）</sup> 楽の御心、<sup>（二十七）</sup> 苦の御心、<sup>（二十八）</sup> 愛の御心、<sup>（二十九）</sup> 憎の御心、<sup>（三十）</sup> 捨の御心、<sup>（三十一）</sup> 取の御心、<sup>（三十二）</sup> 捨の御心、<sup>（三十三）</sup> 取の御心、<sup>（三十四）</sup> 捨の御心、<sup>（三十五）</sup> 取の御心、<sup>（三十六）</sup> 捨の御心、<sup>（三十七）</sup> 取の御心、<sup>（三十八）</sup> 捨の御心、<sup>（三十九）</sup> 取の御心、<sup>（四十）</sup> 捨の御心、<sup>（四十一）</sup> 取の御心、<sup>（四十二）</sup> 捨の御心、<sup>（四十三）</sup> 取の御心、<sup>（四十四）</sup> 捨の御心、<sup>（四十五）</sup> 取の御心、<sup>（四十六）</sup> 捨の御心、<sup>（四十七）</sup> 取の御心、<sup>（四十八）</sup> 捨の御心、<sup>（四十九）</sup> 取の御心、<sup>（五十）</sup> 捨の御心、<sup>（五十一）</sup> 取の御心、<sup>（五十二）</sup> 捨の御心、<sup>（五十三）</sup> 取の御心、<sup>（五十四）</sup> 捨の御心、<sup>（五十五）</sup> 取の御心、<sup>（五十六）</sup> 捨の御心、<sup>（五十七）</sup> 取の御心、<sup>（五十八）</sup> 捨の御心、<sup>（五十九）</sup> 取の御心、<sup>（六十）</sup> 捨の御心、<sup>（六十一）</sup> 取の御心、<sup>（六十二）</sup> 捨の御心、<sup>（六十三）</sup> 取の御心、<sup>（六十四）</sup> 捨の御心、<sup>（六十五）</sup> 取の御心、<sup>（六十六）</sup> 捨の御心、<sup>（六十七）</sup> 取の御心、<sup>（六十八）</sup> 捨の御心、<sup>（六十九）</sup> 取の御心、<sup>（七十）</sup> 捨の御心、<sup>（七十一）</sup> 取の御心、<sup>（七十二）</sup> 捨の御心、<sup>（七十三）</sup> 取の御心、<sup>（七十四）</sup> 捨の御心、<sup>（七十五）</sup> 取の御心、<sup>（七十六）</sup> 捨の御心、<sup>（七十七）</sup> 取の御心、<sup>（七十八）</sup> 捨の御心、<sup>（七十九）</sup> 取の御心、<sup>（八十）</sup> 捨の御心、<sup>（八十一）</sup> 取の御心、<sup>（八十二）</sup> 捨の御心、<sup>（八十三）</sup> 取の御心、<sup>（八十四）</sup> 捨の御心、<sup>（八十五）</sup> 取の御心、<sup>（八十六）</sup> 捨の御心、<sup>（八十七）</sup> 取の御心、<sup>（八十八）</sup> 捨の御心、<sup>（八十九）</sup> 取の御心、<sup>（九十）</sup> 捨の御心、<sup>（九十一）</sup> 取の御心、<sup>（九十二）</sup> 捨の御心、<sup>（九十三）</sup> 取の御心、<sup>（九十四）</sup> 捨の御心、<sup>（九十五）</sup> 取の御心、<sup>（九十六）</sup> 捨の御心、<sup>（九十七）</sup> 取の御心、<sup>（九十八）</sup> 捨の御心、<sup>（九十九）</sup> 取の御心、<sup>（百）</sup> 捨の御心、





雪月花

西川  
全部三卷

繪本鸚鵡返

西川  
全部三卷

繪本冬能詠

西川  
全部三卷

右に通退く本出りやゆきと雪のしるし  
り流るる雪のしるしをのこりけり、あきつる雪のしるし

秀



